

IDEXX プロサイト Dx™ 動物用医療機器

主な製品仕様

検査項目	イヌ:24項目	RBC, HCT, HGB, MCV, MCH, MCHC, RDW, %RETIC, RETIC, WBC, %NEU, %LYM, %MONO, %EOS, %BASO, NEU, LYM, MONO, EOS, BASO, PLT, MPV, PDW, PCT
	ネコ:21項目	RBC, HCT, HGB, MCV, MCH, MCHC, RDW, %RETIC, RETIC, WBC, %NEU, %LYM, %MONO, %EOS, %BASO, NEU, LYM, MONO, EOS, BASO, PLT
	ウマ:22項目	RBC, HCT, HGB, MCV, MCH, MCHC, RDW, WBC, %NEU, %LYM, %MONO, %EOS, %BASO, NEU, LYM, MONO, EOS, BASO, PLT, MPV, PDW, PCT
検出方式	レーザーフローサイトメトリー法、蛍光法、ラミネーター電気抵抗法(シースフローDC検出法)、SLSヘモグロビン法	
測定時間	2分(測定開始から結果表示まで)	
処理能力	約30サンプル/毎時(白血球5分類、網赤血球分析含む)	
サンプル量	使用するEDTAチューブの必要量による(機器の吸引量約30μL)	
データの保存	無制限(IDEXX ペットラボ ステーション使用時)	
本体寸法・重量	幅:320mm 高さ:403mm 奥行:413mm 約25kg	
動作環境	周囲温度:15°C~30°C(最適温度:23°C)相対湿度30%~85%	
電源・消費電力	100~240V AC, 50/60Hz 電力消費210VA 以下	

専用消耗品・付属品

消耗品		 <p>試薬キット 各試薬の容器がまとめてセットされているため、試薬の交換が簡単・スピーディ。 試薬キットはプロサイトDxの横か下に設置してください。 サイズ:41cm(幅)x21cm(奥行き)x22cm(高さ)</p>
試薬キット	溶血剤(250mL) x 1	
	HGB試薬(85mL) x 1	
	網赤血球用希釈液(250mL) x 1	
	希釈液(4L) x 1	
	廃液用バッグ x 1	
染色バック	網赤血球用染色液(9mL) x 1	 <p>染色バック 白血球用染色液パウチと網赤血球用染色液パウチのセット。</p>
	白血球用染色液(12mL) x 1	
ハイドロクリーン洗浄液	1本(30mL)	 <p>EDTAチューブ(市販品) 様々なEDTA加血液採取チューブを使用可能。</p>
付属品		
情報処理装置(IPU)	1台	
バーコードリーダー	1台	
精度管理用品		
e-Check(XS)精度管理用コントロール血液	1個(1.5mL)	

IDEXX 院内検査機器 新世代ラインアップ

患者・検査情報の一括管理が可能なIDEXX ペットラボ ステーションとの接続により、院内での総合的かつ効率的な情報管理が可能になります。



IDEXX プロサイト Dx™

動物専用 自動血球計算装置



その視力、より正確に、より速く。



アイデックス ラボラトリーズ株式会社
〒181-8608 東京都三鷹市北野3-3-7 FAX 0120-71-3922

製品および製品サポート、価格のお問い合わせは下記フリーダイヤルへ。
0120-71-4921 自動音声案内 平日9:00~18:00(土日祝休み)



世界の英知を集めた 動物専用 自動血球計算装置

より良い動物医療のために、世界中から先進の技術とノウハウを結集する。
このアイデックスの企業理念に基づいてIDEXX プロサイトDx™は、誕生しました。
開発3年、検証1年半——東京大学をはじめとする世界の5つの大学や
各国の血液学の第一人者の協力を得て80,000もの動物サンプルを
検証するなど、高精度、信頼性、スピードを追求しました。
動物のしあわせのために、動物のことだけを考えた、院内CBCの世界標準がここに。



その視力、より正確に、より速く。

IDEXX プロサイト Dx™

動物専用 自動血球計算装置

動物臨床における 4つの血球計算法と、その歴史



視算法

この20年間に行われてきた動物臨床における院内CBCの技術は大きく4つに分けることができます。まず、長年行われてきたのが顕微鏡を使って血球数を一つずつ数える視算法です。

QBC法

視算法を自動化して血球計数を測る技術が動物医療の臨床現場に登場したのは1980年代。QBC(Quantitative Buffy Coat/定量バフィーコート分析)と呼ばれるものでした。この技術を採用したIDEXX ベットオートリードは、血球全体を体積として測定しているため、特に猫の血小板を正確に測定できる機器として当時の専門家から評価されました。また、染色して数えていた網赤血球を自動で検査できる当時唯一の院内自動血球計算器として、後にインピーダンス法が登場してからもユーザーの皆様から大きな信頼を得てきました。



IDEXX ベットオートリード

インピーダンス法

1990年代に登場した電気を通さない絶縁体(抵抗)である血球を電気信号の変化で捉えるインピーダンス法(電気抵抗方式)。電気を通した液体中で血球が検出孔を通過する際の電気抵抗の変化の回数によって血球をカウントする技術です。そのスピードが高く評価された一方で、同じ大きさの異なる血球の判別ができない、網赤血球をカウントしない、猫の血小板の正確な測定が難しい、有核赤血球を分別しないなどの問題を抱えていました。

レーザーフロー サイトメトリー法

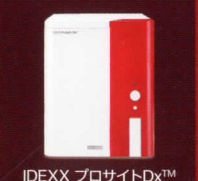
2000年代に入り、検査センターレベルの血液検査項目を院内で行えるレーザーフローサイトメトリー法が動物臨床現場に登場。この技術を採用したIDEXX レーザーサイトは、4つのセンサーにより病理医が血液塗抹で細胞を観察する「質」を目指して開発されました。その「質」とは、血球細胞のサイズ、複雑性、粒状性、そして吸光性を指しています。これによりレーザーサイトは白血球5分類の実数、網赤血球を含む赤血球系、血小板数を含めた24項目の測定を可能にしました。



IDEXX レーザーサイト™

CBC ゴールドスタンダード 技術の統合

この20年間に大きく発展してきた自動血球計算の技術。IDEXX プロサイトDx™は、蛍光レーザーフローサイトメトリー法と、先進のインピーダンス法であるラミネーションフロー電気抵抗法を初めて統合した動物専用の自動血球計算装置です。



IDEXX プロサイトDx™

80's



90's

00's

10's

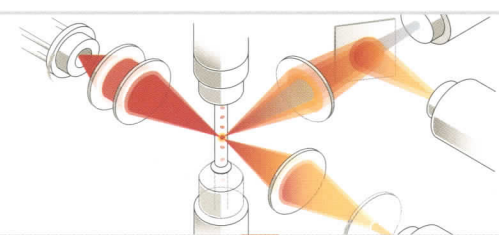
白血球5分類、網赤血球数を含むCBCを2分間で分析。
正常か異常か、次はどうすべきか——
動物臨床現場でのスピーディな判断を支えます。



CBCゴールドスタンダード技術が結集

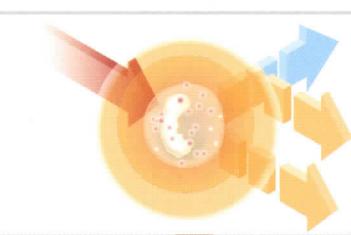
蛍光レーザーフローサイトメトリー技術 より正確に。さらに進化したレーザーの目

レーザーフローサイトメトリー法
細胞の内部構造まで見分ける視力



白血球5分類、網赤血球数、猫の血小板

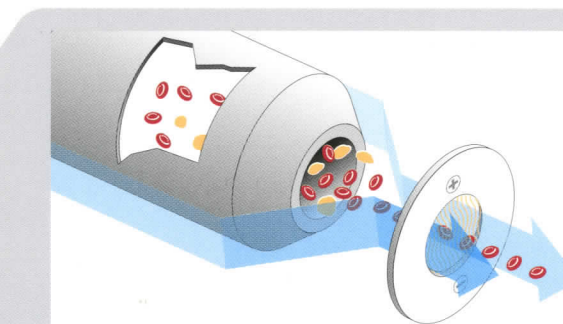
蛍光法
細胞内の核酸を染色して見分ける視力



先進の「目」を統合した IDEXX プロサイトDx™

より速く。高精度なハイスピードの目

インピーダンス技術



ラミナフロー電気抵抗法
血球を一列に並べて正確に数える視力

血球のゆらぎでカウントが曖昧になるインピーダンス法特有の弱点を解消

赤血球、犬の血小板

院内CBCの新しいスタンダード

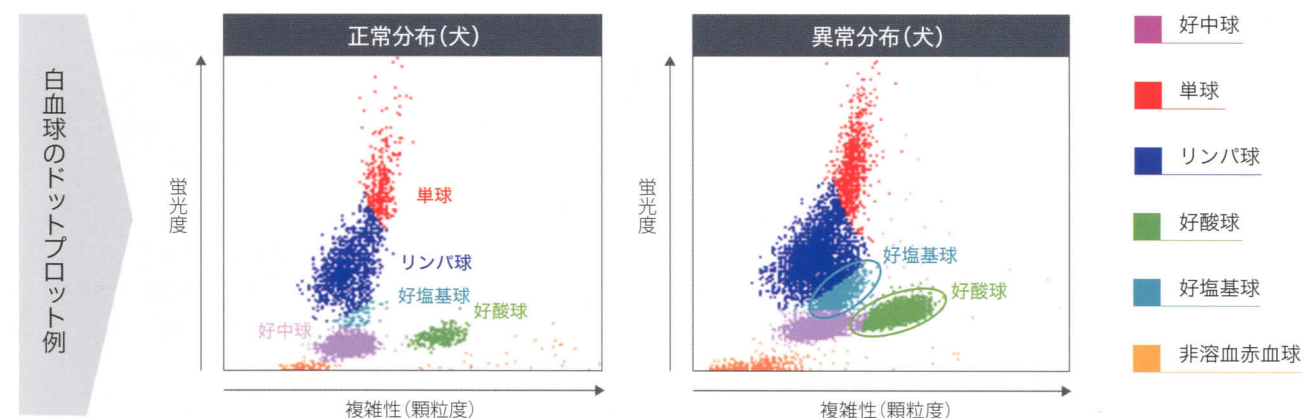
赤血球や白血球の測定分布を、視覚的に画像化する
ドットプロット。スクリーニング段階で
正常と異常分布の素早い判別をサポート。



ドットプロットの役割とメリット

- 一つの細胞を一つのドットで表示。合計60,000もの血球をドットプロット上に表示
- 動物種ごとのアルゴリズムにより正常時のドットプロットを作成、異常時との比較が迅速に行える
- 機器が正常に作動したか、あるいは分析サンプルは正常であったかを瞬時に確認できる
- 塗抹標本でどの点に注目して見ればよいかのガイダンスとなる

塗抹の見方が変わる、診断のスピードと質が変わる。ドットプロット



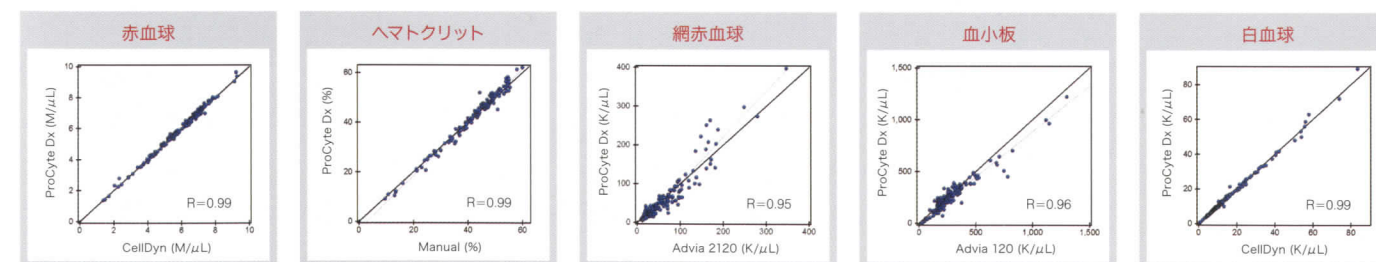
分析サンプルの異常を知らせるスマートフラグ機能

プロサイトDxは、分かりやすい下の7つのフラグ*によって、分析サンプルに異常な細胞または細胞群が存在し、顕微鏡による塗抹標本の検査が必要であることを通知します。

- 白血球分画異常 ●赤血球分画異常 ●網赤血球分画異常 ●血小板分画異常
- 血小板凝集検知 ●桿状核好中球の出現の可能性 ●有核赤血球の出現の可能性

*新しいフラグが追加されることがございます。

臨床的に実用性のある、高い正確性と精度を実現。プロサイトDxをAdvia® 120、Cell-Dyn® 3700、およびSysmex® XT-Vと比較したところ、赤血球、網赤血球、血小板、および白血球分析において高い相関性が見られた。(グラフはすべて犬サンプル)



* Advia 120、Cell-Dyn 3700、およびSysmex XT-Vは検査センターで使用されている白血球分画と網赤血球の分析が可能な自動血球計算装置です。グラフ上の項目ごとのデータは動物種によって異なります。

院内の作業負担を減らして、飼い主様の満足度を高める。
製品とシステムが一体となったIDEXXならではの
トータル・ソリューションで支援します。



速さと使いやすさを追求した製品

白血球5分類や網赤血球を含む検査結果の出力まで2分。
飼い主様をお待たせしません。



業務効率を高めるIDEXX プロサイトDx™



シンプルな操作

- サンプル量はわずか30μL*
 - サンプルをセットしてボタンを押すだけ
 - 30秒で戻るサンプルチューブ
- *使用するEDTAチューブの必要量による(機器の吸引量約30μL)



試薬キットの交換も簡単

使い終わった試薬キットの
アダプターを新しい試薬キットに
差し換えてセットするだけ

経営の未来を広げるシステム

IDEXX プロサイトDx +
IDEXX ベットラボ ステーション
(操作管理画面)



検査結果報告書
(写真は英語版。英語版と
日本語版の双方で出力可能)

さらに、様々な顧客情報管理システムとも接続可能
院内検査機器から検査結果を自動転送し、もれのない正確な情報管理を支援します。

接続可能なシステム例



簡単な操作で多彩な機能 IDEXX ベットラボ ステーション



「面倒な検査情報の
整理がこんなに
簡単になるなんて」

ゆとりを院内に生む

患者情報や検査情報を一括してデータ管理

スタッフの方の作業効率向上

- 新規患者情報をタッチパネルで簡単入力
- 既存患者様の検査履歴の検索・呼び出し機能
- 検査結果の電子データ化で手入力によるミスを低減

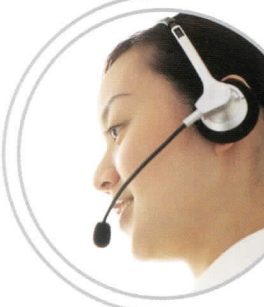


「検査結果を
渡してくれる病院は
信頼できるね」

次の来院へつなげる

信頼を深め、コミュニケーションを円滑にする多彩な機能

- 説明しやすく、そのままお渡しできる検査結果報告書
- 過去の検査データの傾向を視覚的にグラフ化するトレンド機能
- 検査データの評価に役立つ学術情報を表示して検査結果の説明をサポート



「いまからすぐ機器
の状態をお調べて
ご報告します」

大きな安心とすぐつながる

インターネット遠隔サポートでいち早くお問い合わせに対応

専門のテクニカル・サポートスタッフが病院様の
IDEXX ベットラボ ステーションに直接アク
セス。リモート画面で機器上のトラブル原因
を調査して対処方法をご連絡いたします。

IDEXX スマートサービス™

